

平成 22 年 6 月 2 日

### 自然体験学校 2010 の開催について

#### ○自然体験学校開催のお知らせ

本年 8 月 8 日（日）～10 日（火）、福島大学人間発達文化学類主催（福島市教委・二本松市教委・伊達市教委後援）の「自然体験学校 2010」を開催する。

教員養成カリキュラムの「自然体験実習」の受講生である大学 1 年生が、授業の一環として企画・運営するもので、参加者の子ども 2 人に対し 1 人以上の割合で学生がつき、密なコミュニケーションのなかで活動できるので、毎年、好評をいただいている。

福島市およびその近郊の小学 5 年生～中学 3 年生までを対象に参加者を募集する。募集要項は 6 月上旬に各学校を通じて配布される。また、ウェブでもダウンロード可。

(<http://www.ipc.fukushima-u.ac.jp/~p203/ns2010.html>)、なお、募集要項は別紙参照。

#### ○自然体験実習について

「自然体験学校」は、福島大学人間発達文化学類の授業である「自然体験実習」の受講者（60 名～80 名、本年度は 70 名が受講）が、教員になるための学びの一環として、学生たち自身で作る上げる企画である。また、2 年生（毎年約 20 名）も、1 年時の経験を生かし、別の授業の一環としてサポートする。今年で第 14 回目を迎え、受講者はのべ 1000 人を超えた。第 1 回は、1997（平成 9）年、文部省（当時）の「フレンドシップ事業」として始まり、その後、同事業終了後も、福島大学教育学部の授業として開講、2005（平成 17）年の第 9 回からは、人間発達文化学類への再編に伴い、「実践実習科目」として開講するに至り、今年に至っている。

人間発達文化学類は、教員免許について、旧教育学部のような免許必修制とはせず、選択制に転換した。しかし、私たちは、選択制の下でこそ、教育学部に勝るとも劣らない教員を輩出できると考えており、「質の高い教員養成」に力を入れている。そのためのひとつの科目である「自然体験実習」は、教員養成プログラムの入口であり、学生の企画力や実践力、子ども理解の基礎づくりを行っている。準備過程では、週 1 回全体で集まるだけでなく、グループごとに毎日放課後に集まり、特に最後の 1 ヶ月くらいは夜遅くまで、また土日にも準備に費やしている。

教師への志向が強い学生に、大学での学びの入口で子どもたちと出会う機会を与え、自らの教師としての資質について再確認する貴重な場となっている。ここでの経験をきっかけに、意欲を持って学び続け、教師として巣立っていった学生が数多く出ている。

# 自然体験学校2010 募集要項

主催:福島大学人間発達文化学類

後援:福島市教育委員会・二本松市教育委員会・伊達市教育委員会

小学5・6年生と中学生のみなさん

今度の夏休み、福島大学の学生と「自然体験」しませんか？

＜自然体験学校2010＞は、子どもたちと教師をめざす大学生が、ふれ合い、ともに学ぶ夏休みの楽しい企画です。

ハイキング、野外炊飯、キャンプファイヤー、そのほかにも、グループで創作活動を行ったり、文集を作ったりします。

大自然の中で、新しい友だちや大学生と、これまでにない世界を体験してみませんか？

●日 時 平成22年8月8日(日)～10日(火)

●場 所 国立磐梯青少年交流の家  
〒969-3103 福島県耶麻郡猪苗代町五輪原7136-1

●対 象 福島市及びその近郊の小学5・6年生  
と中学生(全学年)

●募集定員 120名

●参加費用 8,000円  
(食事代・教材費・保険費用など実費)

●応募方法 下記「応募用紙」を郵送  
(右側の「応募方法」以下をご覧ください)

○大学までの送り迎えについて

出発と解散は福島大学になりますので、特に小学生や遠方の方の送り迎えにつきましては、保護者の皆様の付き添いをお願いします。

集合は8時ころ、解散は4時ころの予定です。

○ご不明な点は、

024-548-8118〔谷雅泰研究室〕または、  
024-548-8103〔学類事務室〕までお問い合わせください。



## ■応募方法

下の応募用紙にご記入の上、返信用封筒(80円切手貼付、返信先の住所・宛先を記入)を同封して、下記「申し込み先」まで郵送してください。

## ■申し込み先

〒960-1296 福島市金谷川1番地  
福島大学人間発達文化学類・自然体験学校 係

## ■申し込み締め切り

6月21日(月)・当日消印有効

## ■参加の確定

応募が定員を超えた場合は抽選となります。学年や男女のバランスなどを考慮して抽選しますので、ご了承ください。その場合、参加経験のある方はご遠慮いただくことがあります。

結果は6月末までに郵送にてお知らせします。参加費の振り込み方法や、当日のスケジュール、持ち物など詳しいことはその時お知らせします。

＜保護者の皆様へ＞

●応募に当たっては、参加希望のお子さまの意向をよく確かめたうえで、保護者の方が応募用紙に記入してください。

●アレルギーや持病など健康面での留意点などがあれば、応募用紙にお書きください。

●「仲良しの友達と同じ班にしてほしい」といった要望をいただくことがありますが、それらの要望にはお応えできません。新しい仲間と楽しく活動できるように学生が支援しますので、安心して参加してください。

キトリセン

応募用紙 (兄弟姉妹のみ同一用紙にお書きください) 保護者氏名

| フリガナ<br>氏 名 | 生年月日 | 性別 | 学 校 名 | 学年 | 参加経験 | 〒 | 住 所 | 電話番号 |
|-------------|------|----|-------|----|------|---|-----|------|
|             |      |    |       |    |      |   |     |      |
|             |      |    |       |    |      |   |     |      |
|             |      |    |       |    |      |   |     |      |

自宅のほか昼間の緊急連絡先(携帯など)も

↑ (過去の参加経験がある場合は○)

※ 健康面など特別に配慮が必要な事項、あるいはご要望などがありましたらお書きください。

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

## 自然体験学校の主な内容

どんなことをやるのか、簡単に紹介してみましょう。  
(予定です。詳しくは6月にお送りする参加要項をご覧ください)

### [1日目]

- 集合は8時に福島大学です。受付でしおりをもらったら、班ごとに集合、バスに乗って出発！  
国立磐梯青少年交流の家へ。
- 開会行事では、3日間の内容を紹介します。  
その後、班ごとに自己紹介やゲームで仲良くなるう。
- 昼食後、磐梯山のふもとでハイキング。
- 夕食は、野外でみんなで作ります。

### [2日目]

- 午前中は、体育館で集団創作活動。みんなで協力しないと作れない、「おおきなもの」を作るよ。
- 午後は、作ったものを鑑賞しましょう。
- 夕方、火おこし体験。うまく火がつくかな？  
おこした火は、キャンプファイヤーへ。
- 夕食後、いよいよ、キャンプファイヤー。
- この日は、テントで就寝。

### [3日目]

- 午前中は、文集づくり。いろいろなことがあった自然体験学校について、班ごとに文集にまとめよう。  
(文集は印刷製本して、各家庭にお届けします)
- 昼食後、閉会行事。修了証書も手渡されます。
- バスに乗って、大学へ。16時ころ、解散予定。



昨年いただいた、保護者の皆様からの声を一部紹介します。

○今回は大変お世話になりました。帰ってくるなり、3日間の思い出を1人でくわしく教えてくれました。はじめは同じ学校の子と一緒にいいな〜と話していましたが、3日間はじめて会った友だちととても密度の濃い時間をすごせたようで、はじめの心配もどこへやらという感じだったようです。はじめて会った友だちや学生さんたちとすぐに仲よくなり、楽しく充実した時間をすごせたということは、それだけ学生のみなさんや先生方の準備がすばらしかったのだと思います。お世話になりました。ありがとうございました。さっそく届いた思い出の文集を今日ものぞきこんでいます。

○今回自然体験学校に参加しようと思ったのは、テントでの宿泊、野外炊飯、キャンプファイヤーなど、なかなか体験できないことが数多く含まれていたからです。一人っ子なので、このような場で多くの人との出会いがあれば・・・と思いました。学生さん達がたくさんいてサポートしてくださったので、安心してお願いできました。

宿泊を終えて帰ってきた娘は目をキラキラさせて話をしてくれました。班での役割分担や係を決めて仕事に取り組んだことは本人の責任感の強さと自信につながったように思えます。

○今回初めて参加する息子は、自然体験学校前、大学に向かう車の中では、緊張のため一言もしゃべらなかったのですが、大学に到着し、スタッフの皆さんがあたたく迎えて下さったとたん、緊張がほぐれて笑顔になりました。そして最終日、迎えに行った私への第一声は「また来年も行きたい！」でした。帰りの車の中では、行きとは対照的に楽しかった出来事をずっと話していました。活動内容はもちろんですが、初めて会ったお友達と大学生の方々とのふれ合いが、彼には何よりの喜びだったように思います。お世話になり、本当にありがとうございました。

